

35 御料馬「白雪号」置物

三井高義

一点

昭和八年（一九三三）

ブロンズ・鑄造

総一三・〇×三七・〇×三四・八

昭和天皇の御料馬「白雪号」をモデルにしたブロンズ像。白雪号は大正十三年（一九二四）十一月、男爵佐藤達次郎購入の馬として、宮内省がヨーロッパから購入した馬二頭とともに皇太子裕仁親王と皇太子良子妃に披露された。宮内省購入の二頭は裕仁親王によって、それぞれ吹雪、初雪と命名された。佐藤男爵の購入馬はハンガリー産アラブ種の葦毛の牡馬で、この後に皇太子へ献上され白雪と命名された。白雪号は昭和十七年（一九四二）に除籍となるまで、御料馬として阅兵式などの機会に御乗馬になることが多かった。

本作の箱書によれば、昭和八年の夏に制作され、昭和二十六年四月に作者より昭和天皇へ献上された。作者の三井高義（一九〇三〜八七）は、明治三十六年（一九〇三）に三井一本松町家の三井得右衛門の次男として東京麹町に生まれた。大正十四年に東京美術学校に入学、朝倉文夫、北村西望、建畠大夢に師事した。生来の馬好きであったため、特に池田勇八から教わるのが大きかった。美術学校入学の年に第六回帝展に初入選し、それ以降、戦前は帝展、戦後は日展と日彫展に馬を主題とした作品の発表を続け、昭和三十二年に第十三回日展で特選となり、同三十八年に新日展会員に推挙された。同四十一年に完成した東京競馬場の「トキノミノル像」は競馬ファンにも広く知られている。穏やかな表情を見せる白雪号の姿には、作者の馬に対する愛情と優しい眼差しを感じさせる。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に<sup>1</sup>出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

こまくら  
駒競べ——馬の晴れ姿

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 73

編集 宮内庁三の丸尚蔵館  
制作 株式会社 東京美術  
翻訳 黒川廣子  
発行 宮内庁  
平成二十八年七月九日発行

© 2016, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonmaru Shōzōkan